

「特別の教科 道徳」学習指導略案

第5学年1組26名

指導者 大久保 龍太

1. 主題名「本当の友達」 B-(4)友情、信頼

2. 資料名「ひみつのグループトーク」(出典:学研「みんなの道徳⑤」)

3. ねらい

SNS での会話について考えることを通して、友達と信頼し、高めあう人間関係を築いていこうとする、心情を育てる。

4. 展開

	学習活動(○発問、☆中心発問)と児童の反応(・)	◇指導上の留意点 ◆評価の視点
導入 5分	1. SNS の良さについて考える。 ○SNS で友達とやり取りをするのは、どんなよさがあると思いますか。 ・いつでもやり取りができる。 ・持ち物や宿題の確認が気軽にできる。 ・遊ぶ約束がしやすい。 ・写真を送りあうことができる。	◇SNS を使ったことのない児童にもイメージできるように、電子黒板に SNS のやり取りの画面を映す。
展開 37分	2. 「ひみつのグループトーク」を読んで感じたことを話し合い、道徳的価値の大切さを考える。 ○マリは夏休み中、どのような気持ちでグループトークをしていたでしょう。 ・友達と気軽にやり取りができて楽しい。 ・夏の思い出を伝えられてうれしい。 ・夏休み中も仲良くすることができる。 ☆マリは、どのような気持ちでナオミたちに「そうだね…。」と送ってしまったのでしょうか。 ・もし否定してしまったら、空気の読めない人になる。次の悪口の対象となってしまうかも。 ・みんなも言っているし、私もいいかな… ・本当は止めるべきだというのはわかっているけど… ・話の流れに乗るしかない。	◇語り聞かせの中で、SNS での会話のやりとりをスライドで映すことで、教材文への興味・関心を高める。 ◇夏休み中の SNS でのグループトークは、マリにとって良い友達関係を築くための場(大切な思い出)であったことを押さえる。 ◇間違っているとわかりつつ「そうだね。」と言ってしまう人間の心の弱さに触れるようにする。 ◇陰で悪口を言われている側の気持ちも考えていくことで、どちらの視点から考えても、陰で悪口を言うことはよりよい人間関係を築くことにはならないことを押さえる。 ◇自分ならどうするかを問うことで自分ごととして考えさせる。
	3 自分の生活を振り返る ○友達とよりよい関係を築くために、どのように接していけばよいでしょう。 ・友達の悪口や陰口は言わないし、同調しない。 ・もしほかの友達が陰口を言っていたら注意する。 ・自分が言われて嫌なことは言わない。	◇自身の生活を振り返らせることで、自分を見つめさせ、これからの友達とよりよい関係について考えさせる。 ◆友達とよりよい関係を築くために大切なことについて、多面的に考えている。 (発言・ワークシート)
終末 3分	4 本時の学習で振り返ったことを発表し合う ○今日の授業で感じたこと、考えたことを振り返りましょう。	◇ワークシートに感想を書くことで自分の内面を振り返って考えさせる。さらに文章化することでより深い内省、確かな振り返りをねらう。